

# Matsuda

○ 松田町議会だより

No.205  
2017.2.15



## 7年目の炎 “店屋場地区どんど焼き”

店屋場自治会は、町屋地区の人口増加に伴い平成9年に新たに誕生しました。当時は、町屋自治会の上地区と合同で実施していましたが、その後、地元に道祖神を設置しよう！という運動が始まり、篤志家からの石碑の寄附によって平成22年6月に建立されました。そして、平成23年に初めての炎が高々と上がってから7年目を迎えました。



第4回定例会・産業厚生常任委員会報告	2
条例改正・補正予算・同意等	3
補正予算審査特別委員会報告・討論	4
選挙・議会基本条例・議案審議結果一覧	6

一般質問	7
第4回臨時会	11
議員行政視察報告	12
住みやすい町を目指して㉙	14

## 平成28年第4回定例会

会期  
12月6日(火)～9日(金)

### 一般質問

12/6 利根川議員・田代議員(P7)  
中野議員・南雲議員 (P8)  
飯田議員・小澤議員 (P9)  
石内議員 (P10)

### 一般質問

12/7 平野議員(P10)  
大館議員(P11)

### 議案審議等

12/8 議案5件(条例の一部改正、  
町道の認定・補正予算)  
常任委員会

### 議案審議等

12/9 特別委員会  
議案6件(補正予算、条例の  
一部改正)、同意1件、選挙  
2件、各種報告などが行わ  
れ閉会

決しました。  
審査した主な内容は次  
のとおりです。

率は、どのくらいか。  
質 公共下水道への接続  
率は91・2%。  
質 酒匂川流域下水道構  
成市町の経費回収率は現  
在どのくらいか。

答 松田町の経費回収率  
は46・6%、松田町以外  
の3市6町の平均回収率  
は71・8%、松田町以外  
の6町の平均回収率は  
65・3%である。  
質 酒匂川流域下水道構  
成市町の経費回収率  
は現状どのくらいか。

答 公共下水道の平均使  
用量はどのくらいか。  
質 社会的弱者の救済措  
置は取れないか。  
質 使用量の多い少ない  
で救済措置を取る判断は  
できない。別に補助制度  
が必要と考える。  
質 公共下水道の平均使  
用量は、40m<sup>3</sup>となってい  
る。

## 産業厚生常任委員会で審査

### 松田町下水道条例の 一部を改正する条例

この条例の一部改正  
は、平成28年9月9日に  
開催の第3回定例会で上  
程されました。産業厚  
生常任委員会へ付託し慎  
重に審査を行いました。

従前の下水道使用料  
は、平成24年に改正しま  
したが、提案された改定  
率が高かつたため、町民  
生活に多大な影響を及ぼ  
すことから、改定率を下  
げ修正可決しています。

その時の付帯意見とし  
て、4年を目途に見直し  
を検討することとなつて  
いたため、議会としても委  
員会で、平成28年3月より酒匂川流域下水道構成  
市町の下水道使用料等の  
状況を調査・研究してき  
ました。

審査の結果、12月9日  
の産業厚生常任委員会報  
告(下記参照)後に採決  
を行い、酒匂川流域下水  
道構成町の当町以外の6  
町の経費平均回収率に引  
き上げるため、平均18・  
7%の改正する条例を可

### 産業厚生常任委員会報告書(抜粋)

下水道使用料の改正は、平成24年第1回議会定例会において委員会付託となり、原案の改定率38%(1.38倍)を20%(1.2倍)に減額して修正可決すると共に、付帯事項として4年を目途に使用料の見直しを検討することとされました。

この経緯を踏まえ、本委員会は環境上下水道課長及び担当者出席のもと、議案に対する質疑を含め詳細に審査しました。

審査の結果、提案された原案の下水道使用料の改定額は、酒匂川流域下水道構成町の使用料と比較して18.7%改定するものでした。これは、平成24年に修正可決した際に減額したものと、その後の社会経済情勢の変化を踏まえたものでした。

よって、受益者負担の原則に基づき本来受益者が負担すべき費用の不足分の一部を補う使用料を改定することが、下水道会計事業の健全化を図ることと判断したので、原案のとおり賛成することとしました。

なお、今後の下水道事業の経営状況・町の財政状況・社会経済情勢、及び酒匂川流域下水道構成市・町の使用料の推移を考慮し、定期的に見直しを検討されたい。

### 平成29年4月1日から公共下水道使用料を改定

4月1日より現況料金から単価平均18.7%の  
値上げとなります。

- 2か月で40m<sup>3</sup>使用した場合の例 (税込)  
旧料金 3,447円 ⇒ 新料金 4,075円
- 2か月で60m<sup>3</sup>使用した場合の例 (税込)  
旧料金 5,391円 ⇒ 新料金 6,365円

# 条例改正・道路認定・補正予算・同意



町道1-9号線

▼松田町税条例の一部を改正する条例  
地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、固定資産税の課税標準の特例や軽自動車税に関する経過措置の改正をするものです。

▼松田町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条文の整理をするものです。

▼松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
外国人等の国際運輸業

に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正等に伴い、特例適用利子等に係る国民健康保険税の課税の特例の新設及び条文の整理をするものです。

▼松田町道路線の認定について

道路改良事業に伴い、庶子地区の消防団第2分団詰所から旧砂利線までを、町道1-9号線として認定するものです。

▼平成28年度松田町一般会計補正予算(第6号)  
一般会計補正予算(第6号)は、歳入歳出それ

に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正等に伴い、特例適用利子等に係る国民健康保険税の課税の特例の新設及び条文の整理をするものです。

主な内容は、債務負担行為補正、県町村情報システム共同事業負担金、防犯カメラの設置、障害者福祉サービス等給付金等の補正をするものです。

なお、一般会計補正予算審査特別委員会に付託となり、審査を行いました。詳細は4ページを( )ご覧ください。

2千円を追加し、予算総額を3億4565万3千円とするものです。

▼平成28年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)  
國民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それ

ぞれ2589万6千円を追加し、予算総額を43億9581万7千円とするものです。

主な内容は、町村情報システム共同事業組合システム改修費や保険給付事業費などの補正をするものです。

▼教育委員会委員の任命について

部を改正する条例(産業厚生常任委員会報告)  
下水道使用料を18・7%値上げするものです。詳細は2ページを( )ご覧ください。

伴う事業の実施、湯の沢児童センター耐震補強工事や萱沼地域集会施設接道擁壁工事の補正をするものです。

▼教育委員会委員の任命について

平成28年12月17日をもつて教育委員会委員の任期が満了するため、次の方が任命同意(再任)されました。

一宮 朗子 氏



セットバックで擁壁を作ります  
(萱沼地域集会施設は建設中)

## 審議の結果

以上の議案10件、同意1件を審議し、原案のとおり可決・同意しました。採決の結果は、6ページの審議結果一覧を( )ご覧ください。



主な内容は、保険給付費の大幅な増額に伴い、

主な内容は、保険給付

主な内容は、保険給付

主な内容は、地方創生推進交付金の交付決定に

## 一般会計補正予算（第6号）

### 特別委員会を設置し審査

#### 一般会計補正予算審査特別委員会報告書(抜粋)

町長、副町長、教育長、参事及び担当課長出席のもと、議案の補正予算のうち第2表 債務負担行為補正の(仮称)松田町住宅整備事業に対する審査をしました。

審査の結果、この債務負担行為は、人口増加策のための定住少子化対策の推進、長年の課題であった町営住宅の借地返還を推進、民間活力の導入により町の財政負担の削減を図ることから必要な事業と判断しました。

この事業は、当町で初めての「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づく事業の導入で、債務負担行為も30年間の長期間であり、債務負担の限度額も11億2,273万2千円と高額となるため、事業の実施やメリット、デメリット等を確認して賛成することとしました。

なお、特別委員会に出された意見に十分留意され、慎重に執行されたい。

議案第56号平成28年度松田町一般会計補正予算（第6号）は、12月8日に上程されました。第2表の債務負担行為（※下記参照）補正の中の（仮称）松田町住宅整備事業は、平成29年度から平成59年度の30年間で、11億2273万2千円の高額な債

務負担で、当町では初めてのPFI事業を導入して行うものです。そのため、事業の実施やメリット、デメリット、リスク等を確認するため、議員全員による特別委員会を設置しました。12月9日に審査を行った主な概要は次のとおりです。



町屋地区の建設計画地



籠場地区の建設計画地

答　経費や運営費などがそれ住宅を合せて発注するメリットは。

答　別々に発注した場合、経費や運営費などがそれ住宅を合せて発注するメリットは。

質　籠場地区と籠場地区住宅を合せて発注するメリットは。

質　籠場地区住宅は、公営住宅法によるものではないので、現状では補助金が見込めないが、先進的な取組みとして、国と協議をしている。

質　金利変動時のリスクは。

質　籠場地区住宅は、公営設費等に対し2億4908万9千円を見込んでいます。

質　PFI事業者が倒産したときの対応は。

質　倒産した場合は、融資元の銀行が業務継続責任を負うことになる。代表企業が倒産した場合は、代表企業を変更して業務を継続することを契約で定める。

質　PFI事業者が倒産したときの対応は。

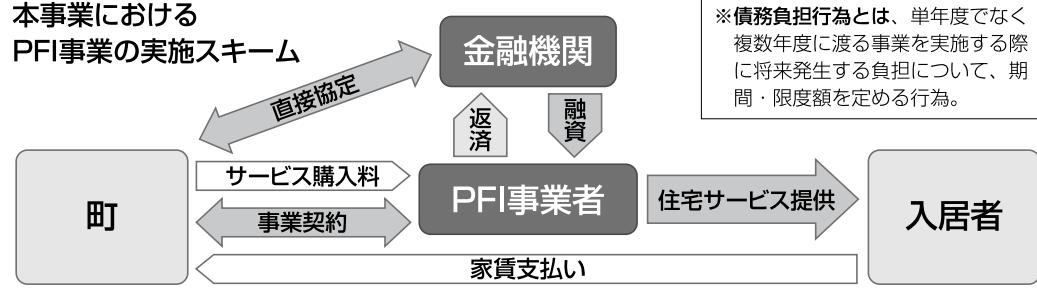
質　倒産した場合は、融資元の銀行が業務継続責任を負うことになる。併せて発注することにより、試算では、概ね5千万円の費用を削減できる。

質　PFI事業者と民間が契約を結び、適切なリスク分担のもと、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、より効率的・効果的かつコストを抑えたサービスの提供を図る事業として実施するものである。

質　既存の町営住宅から転居される方などを主に想定しているため、30年間を自途に行う。

（仮称）松田町住宅整備事業とは、町屋地区（旧警察官舎）に28戸、籠場地区（旧家畜保健衛生所）に21戸の集合住宅を整備する事業で、30年間の維持管理運営費等を含めると総事業費は11億2,273万2千円を見込んでいる。

#### 本事業におけるPFI事業の実施スキーム



# 平成28年度 松田町一般会計補正予算(第6号) 債務負担行為補正 「(仮称)松田町住宅整備事業」に対する討論

## 反対討論

ただいま委員長から報告がありました議案第56号 平成28年度松田町一般会計補正予算(第6号) 第2表 債務負担行為補正(仮称) 松田町住宅整備事業に対し、平成59年度までの30年間、町が11億2,273万円もの債務保証をすることに反対の立場から討論を行います。

この事業は、町屋地区に子育て世帯向け住宅を、民間活力を導入し、PFI方式により整備をするものです。松田町初めてのPFI事業に対し、画期的なもので夢のあるものです。しかしながら、疑問点もあります。もう少し幅の広い議論をするべきです。一方、籠場地区には高齢者や障害者向けの福祉住宅で、既存の古い町営住宅に住む方の住みかえを第一に考え、整備

## 田代 実 議員

するものです。まさに、社会的弱者のためのものです。

しかし、今回の計画は町単独事業で国の補助金を活用しないで整備するものです。なぜ公営住宅法に基づく町営住宅の整備に取り組まなかつたのでしょうか。財源の少ない当町にとっては、国庫補助金は重要な財源となります。地方公共団体である松田町は福祉施策の一環としての町営住宅を整備するべきです。単独住宅の整備であることに問題を感じます。また、30年間という長きにわたり、11億円余りの債務保証を町が行うのに本会議での審議時間、また特別委員会での審査時間は少ないように感じています。

私の反対討論は、以上のとあります。

## 賛成討論

私は、平成28年度松田町一般会計補正予算(第6号)の(仮称)松田町住宅整備事業に関する債務負担行為補正について賛成いたします。その理由として、先日報道があったように、国も人口増加促進のために、人口増加をした自治体に対し交付税を上乗せをするということを発表しており、人口増加策は喫緊の課題です。周辺自治体との人口の奪い合いになることは目に見えてあります。ここはスピード感をもって定住策を打ち出す必要があります。このPFI方式は町にとって初めてのことでのことで、また、11億2千万円程を30年間にわたるという債務負担行為もかつてない大きな規模のものです。委員長報告のとおり、特別委員会では大変多くの質疑がなされ、また、それに対し、担当課長及び町長みずからしっかりと説明があり、一つ一つの心配を払拭してきました。

また、町の実質的な負担は維持管理に関する経費にほぼかかっていくと私は理解しました。厳しい財政の中で、また、人的資源も限られた小さな町の中で、町もさまざまな方法を模索、最も町のリスクが少ない、負担が少ないのでこの方法を選んだという説明がありました。そしてまた、長期的な町全体の公債費の推移を考えても、このPFIの分、それから、これから考えられる木づくりの学校建てかえの分などを考えても、起債制限等、超えない範囲におさまることが予測できました。そして、子育て世代に向けた洗練されたデザインの新築の住宅というのは、非常に希望があるものと判断いたしました。

また、籠場のほうで公営住宅法から外れた方法を選

## 平野 由里子 議員

択したということ、社会的弱者のためだけではない住宅をあえてつくるという選択をしたということ、これに関しても、より多様な世帯の入居を将来にわたって可能にするということで私は納得いたしました。この社会的弱者のための公営住宅に関しましては、国全体も今、やや不足ぎみであるというような問題も聞いてはありますが、町全体の経営の長期的なスパンを考えたときに、あえてこの公営住宅法の縛りを外すという選択をしたことも私は納得いたしました。また、社会的弱者のためには20年間、家賃の軽減措置が図られること、そしてまた、もっと厚い、例えば生活保護等のセーフティーネットもあるので、町のきめ細やかな福祉政策で個々のケースで対応できればカバーできるのではないかと思います。

ハード整備だけで、もちろん安心してはいられないとは思います。先ほど言った人口増加策は、本当に奪い合いになることは目に見えているので、教育・文化・健康・福祉政策などあらゆる面で知恵を絞っていただき、また、産業や観光政策にも力を入れていただきたい、来てよし・住んでよしのまちづくりを推進していただきたいと思います。バイタリティーあふれる若い人たちを呼び込む。恐らく、ここに住みたいという世帯は共働きの人も少なくないと予想されます。子育てしながらでも自己実現、社会貢献の意欲が高いバイタリティーあふれる若い人たちを呼び込もうというこの政策は、未来につなぐための大きな事業と考えて、私は賛成いたします。

# 選挙の結果について

## ▼南足柄市外五ヶ市町組合議会議員の選挙

平成29年2月19日をもつて組合議員の任期が満了するため、平成28年12月9日に選挙を行い、次の方が指名推選により当選されました。

## ▼松田町外二ヶ町組合議員の選挙について

平成29年3月27日をも

つて組合議員の任期が満了するため、平成28年12月9日に選挙を行い、次の方が指名推選により当選されました。

田代	利根川	小澤啓司	石内	齋藤浩永	鈴木眞徳
石内	茂実	茂	齋藤	浩	利根川
井上	井上栄一	利根川	井上	永	田代
北村眞佐雄	永浩氏	小澤	北村	永	石内
氏	氏	啓	眞佐雄	浩	齋藤

# 議会基本条例制定に向けて

議会では、平成28年6月3日に議会基本条例制定委員会を設置し、現在制定作業を進めています。

委員は、6名で構成され、各市町村の議会基本条例の比較・研究、当町で進めていく自治基本条例との整合を図りながら素案を作成するため、現在5回委員会を開催しています。



職員より自治基本条例の進捗状況を聞く委員

# 議案審議結果一覧

## 第4回定例会(12月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 同…同意

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	平野由里子	田代実	南雲まさ子	中野博	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	齋藤永	鈴木眞徳	大館秀孝
議案52	松田町税条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	松田町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	松田町町道路線の認定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成28年度松田町一般会計補正予算(第6号) (一般会計補正予算審査特別委員会報告)		可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成28年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成28年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	平成28年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	松田町下水道条例の一部を改正する条例 (産業厚生常任委員会報告)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	平成28年度松田町一般会計補正予算(第7号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 5	教育委員会委員の任命について		同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 井上栄一議長は採決に加わらない。

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。



寄のレストフルヴィレッジ

松田町の高齢者比率も30%を超え、介護需要も益々多くなっている時代です。

かつては、町社会福祉協議会において、ホームヘルパー2級の養成講座も開催されておりました

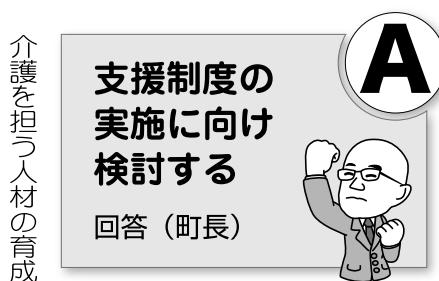
が、現在では、①介護職員初任者研修、②介護の実務者研修などの制度も変わっています。

この講座を受講するにも、多大な費用と時間がかかります。

介護の担い手を育成す

## A 支援制度の実施に向け検討する

回答（町長）



るためにも、講座を受けられる方々への助成が必要と思われます。  
町長のお考えをお聞かせください。



質問者  
利根川 茂 議員

## 介護の担い手の育成支援を！

平成27年度決算のふるさと納税（寄附金）は7920万5千円（4783件）、歳入が伸び悩むなかで新たな財源を確保できることは素晴らしいことで、翌年度以降も恒常的な財源とする努力が必要です。

返礼品のうちミカンは1890件、525万6千円、金額で6・6%、件数では40%を占めています。1件につき10kg／箱で、1万8960kgのミカンが全国に発送されました。

しかしながら、1632件（86%）はJAの南足柄選果場に委託した足柄産ミカンで、僅か264件（14%）が松田みかんオーナー組合からの発送です。

ミカンを全て松田産とする可能性について、これまでの農家に対する取り組みと今後の「松田ミカン」の推進体制についてお伺いします。



これまでの農家に対する取り組みと今後の「松田ミカン」の推進体制についてお伺いします。

今後は、町が旗振り役となり、個々の生産者をうまく組織できるような体制づくりを構築していきたい。松田ミカンの数を増やして、返礼品のミカンは全て松田産に切り替え、全国にアピールしていきたい。

## A ミカンの推進体制は！

質問者  
田代 実 議員

## A ミカンは松田産に切替える！

回答（町長）

は急務です。  
県内では、福祉・介護の資格取得に関し、助成制度を実施している市町村もあり、松田町におい

ても、支援方法を検討し、遅くならない時期に制度化、実施に向けて検証を行つていぐ。

これまで試験的な取り組みとして、JAにお願いし松田ミカンの生産者限定『手詰めミカンコース』を準備し、年内に発送する。町内の生産者が、品質の良いミカンを寄附者にお届けすることを機会に、リピーターとなつていただきながら、松田町の農業振興につながると考えている。

今後は、町が旗振り役となり、個々の生産者をうまく組織できるような体制づくりを構築していきたい。松田ミカンの数を増やして、返礼品のミカンは全て松田産に切り替え、全国にアピールしていきたい。

# 町民文化センターの今後を問う



質問者  
中野 博 議員



特別のイベントの貸し出しを中止している大ホール

町民文化センターは、築35年が経過し、至る所で修繕の必要性がでています。特に、大ホールは大雨の時には雨漏りがしてしまうことなどで、特別のイベント事業には使用をお断りしているところですが、耐用年数的にはまだ長くあるようなので、思いきった修繕のお考えはありますか。

町民文化センターにつ  
いては、大規模に修繕を

**A**  
足柄上郡  
中心の  
地を目指す

回答(教育長・町長)



今年の4月14日熊本地震が発生し、2度の震度7は気象庁にとつても想定外であったと言われています。  
松田町では、神縄・国府津一松田断層があり、東海地震に係る地震防災

施さないじ 改善できな  
い状態にある。町単独予算では、その財源確保に苦慮しているが、この窮状を開する案として、この度、国でハード事業を対象とした地方創生拠点整備交付金が創設されたので、申請に向け準備を進めていく。

近隣において千人規模のホール機能があり、駅から5分程度という好条件は、当町民文化センタ

## 安心で安全なまちづくりを



質問者  
南雲 まさ子 議員

今年の4月14日熊本地震が発生し、2度の震度7は気象庁にとつても想定外であったと言われています。  
松田町では、神縄・国府津一松田断層があり、東海地震に係る地震防災

セントラルが、町内の賑わいを取り戻し、上郡の中心として広域的な役割を担う拠点として、復活をさせたい。

今後改めて利用促進協議会を設立し、慎重かつ迅速に事業を推進していく、利活用事業の展開を図り、かつての上郡の郡都であつたような町の活性化につなげていく。

**A**  
今後も  
効果的な対策に  
取り組む

回答(町長)



(1) 被災者支援システム打ち込めば、被災関連情報を見つけることができる。現在の町の仕組みでは、見つけ出すのに時間がかかる。シス

テムを取り入れるために課題を研究し、問題の解決が確認できたら導入したい。

(2) 業務継続計画を策定するシステムの構築についてお伺いします。

一だけである。町民文化センターが、町内の賑わいを取り戻し、上郡の中

心として広域的な役割を担う拠点として、復活をさせたい。

が、当町のBCPに対しこのお考えは。

(2) 熊本地震でBCP(業務継続計画)の重要性が明らかになりましたが、当町のBCPに対し

(3) 生活インフラとして災害時に重要な水道事業・トイレ対策は。

一だけである。町民文化センターが、町内の賑わいを取り戻し、上郡の中

心として広域的な役割を担う拠点として、復活をさせたい。

が、当町のBCPに対しこのお考えは。

## BCP(業務継続計画)とは

災害時に行政自らも被災し、人・物・情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務(非常時優先業務)を特定すると共に、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な物資の確保等をあらかじめ定めること。

# 高齢者に対する取り組みは



質問者  
飯田一議員

高齢者世帯の増加に伴い、配偶者の死別などで「独居高齢者」も増加の一途をたどっています。

現在、高齢者世帯のうち一人暮らしの高齢者の割合が34・2%（平成27年度）ですが、この割合が20年後には44%に達するという推計値がでています。

そこで、高齢者対策についてお伺いいたします。

- (1) 高齢者の方々が生きがいを持つて、老後を過ぐせる対策はお考えですか。
- (2) 一人暮らしの高齢者が増え、さらなる見守り活動が重要と考えます。この対策は、どのようにお考えですか。
- (3) 特別養護老人ホーム

**A**

## 高齢者のニーズを把握、研究し政策を行う

回答（町長）

# 家庭用消火器の全戸常備を提案する



質問者  
小澤啓司議員

近い将来、大規模地震の襲来が予測されています。阪神淡路大震災の経験からも、火災対策が最重要課題だ。

- (1) 高齢者が「役割を持つ」と「友人をもつこと」、総じて、高齢者の「就労」と「社会参加」にあるとを考えている。高齢者の学習活動として「趣味的なもの」「健康・スポーツ」などがあり、町として高齢者の自主グループ活動
- (2) 大規模地震が発生すると水道が断水する。初期消火のために、家庭用消
- (3) 防災訓練等で実物の消火器使用体験ができるよう、取り組めないか。

**A**

## 消火器の普及・啓発に取り組む

回答（町長）

- (1) 信頼できる消火器販売業者を選定し、販売・納品・回収や高齢者の見守り等も含め協定を結ぶ。
- (2) 既存消火器の定期点検システムを導入できなかいか。
- (3) 防災訓練時には、自治防災会と打合せ、手持ちの使用期限切れとなる消火器を利用し、消火訓練ができるよう検討する。

なあ、震災時の電気火災には「感震ブレーカー」が有効で、消火器設置と合わせ普及・啓発に取り組む。

のメニューの提示など、社会参加のきっかけづくりを支援していきたい。  
(2) 地域での支え合い・助け合いの意識の醸成が重要と考えている。町においても、災害時避難行動要支援者の登録からマップに反映できるといろいろ進んでいる。

また、現在も配達事業

者等による見守り活動の展開や、更には、機器を活用した見守りなどは、実証実験を経て妥当性を検証していく。  
(3) 地域密着型の小規模な特別養護老人ホーム等の普及も図られているので、要介護認定率の推移を鑑みて、事業所誘致を推進していく。



水消火器による防災訓練

## 「空き家対策」のその後について



質問者  
石内 浩 議員

「空き家対策特別措置法」は、全国820万戸といわれる空き家につき、強制的な措置を可能としたうえ、それと連動して固定資産税の住宅用地特別の解除措置がとられた。

空き家の持主は、対策をしないと経済的負担や強制的措置を受ける。特に、固定資産税等の増額は大きな負担となるため、早急な対応が必要と思われる。

次の点について伺いたい。

### 「空き家」は町の地域資源

回答（町長）



き家の増加が予想されるが、活用可能な空き家等を地域資源と捉え、国の補助制度の活用等を含め、新しい視点やアイデアをどう生かそうとしているのか。

査を行い、27件の回答があり、その結果、「空き家」とされたのが18件、その他が9件であった。これらの所有者等に対し相談窓口や空き家バンク制度の紹介をした。

国補助制度は、町活用の場合の解体費補助、空き家等改修費補助、地域資源であり、町民・民間事業者等と連携し、利活用について取り組む。

(2) 国の補助制度は、町活用の場合の解体費補助、空き家等改修費補助、

（3）地域資源であり、町民・民間事業者等と連携し、利活用について取り組む。

（4）地域資源であり、町民・民間事業者等と連携し、利活用について取り組む。

年に策定済みで、29年度には改訂するとしていますが、進捗状況をお聞かせください。

も基準を満たす。中学校は、両校ともやや不足しており、予算内で充実を図る。学校図書館には、専門司書はないが4校とも司書教諭はある。

しかし、担任兼務で図書館には専念できず、ボランティアの力を借りて図書の現状をお聞き。

町図書館には、正規職員1名、非常勤職員2名の司書がいる。今後は、町と学校の図書館連携などを考慮すると、専門司書の配置が必要となる。

（3）改訂には、前向きに取り組む。現在、学校では朝読書を行っているが、学校だけでなく、家庭での読書活動推進にも取り組むよう啓発していく。

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

- (1) 空き家外観調査は、平成26年11月に行い、データ化した。「空き家」とした建物は65件、その中で活用が見込まれる47件についてアンケート調査を行った。
- (2) 高齢化の進行で、空き家件数は。

- (1) 当町での調査も進んでいるが、空き家等に関する町民からの苦情件数、特定空家の指定件数、管理されている空き家件数は。
- (2) 平成26年11月に行い、データ化した。「空き家」とした建物は65件、その中で活用が見込まれる47件についてアンケート調査を行った。

### 図書館のコピー機は再設置の予定

回答（教育長）



- (1) 利用者のニーズに応え、次年度から有料のコピー機を再設置する。WIFI環境は、政策推進課で公民館も含め全町整備を検討中で、利用ルールも定めていきたい。
- (2) 小学校は、松田も寄

- (1) 図書館と生涯学習「はじめの一歩」「コーナー」の利用者の便を図るために、コピー機及びWi-Fi環境の設置のお考
- (2) 國や県が掲げる子ども読書活動推進政策のもと、当町も「子ども読書活動推進計画」を平成18



町図書館は専門司書が配置されている

# 行政課題の解決対応を問う



質問者  
大館秀孝議員

自治体の抱える行政課題は、多種多様で解決することが困難な課題が多いと思いますが、広域連携で対応すれば難題も意外と早期に解決できると考えられます。

次の3点について、どのような対応をされたのか、また、されようとしているのか、来年度予算に反映されるのか、お伺いします。

(1) 公共下水道債の高利の部分の借り換え又は繰り上げ償還について

- (1) 現在利率4%台が22本、3%台が4本あり、  
(2) 数年2%台、1%を

## 広域連携で早期解決に取り組む

回答（町長）

- (1) 大地震、風水害等の発災時の対応について  
(2) ヤマビル対策について  
(3) 自然災害による孤立化が懸念されるのは、寄地区全域と想定される。秦野市道20号線の拡幅が実現すれば、大型車両が通行可能となり、物資輸送・救急・救護者の搬送力が向上し、寄地区的孤立化防止が可能となる。今後は、一市三町広域行

切る場合もある。国が再度繰上償還制度を創設しえば、自治体負担が減少し安定的な運営ができるので、県内・全国の町村の意見として神奈川県町村会、全国町村会を通じて要望する。

(2) ヤマビル対策については、広域的に実施すべく、専門部会に位置付けようとする。

(3) 自然災害による孤立化が懸念されるのは、寄地区全域と想定される。秦野市道20号線の拡幅が実現すれば、大型車両が通行可能となり、物資輸送・救急・救護者の搬送力が向上し、寄地区的孤立化防止が可能となる。今後は、一市三町広域行

## 平成28年第4回臨時会

会期 11月25日(金)



拡幅が望まれる秦野市道20号線

一市三町広域行政推進協議会とは、秦野市・松田町・大井町・中井町で構成する協議会

一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

▼平成28年度松田町一般

人事院勧告を鑑み、職員の給与等の改定をするものです。

▼松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成28年第4回臨時会は、11月25日に開催されました。内容は、松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例ほか4特別会計の補正予算を審議しました。内容は、松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の可決による増額と、職員の退職分による減額、4月の職員人事異動による人件費関係、一般会計からの繰出金や繰入金等を補正するものです。

## 審議の結果

## 3月議会（1日・9時開会）を傍聴しませんか！

松田町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回定例会が開催されます。また、必要に応じて臨時会が開催されます。議会での審議を誰でも傍聴できますので、ぜひ、議場にお越しください。

- ①議場入口に「傍聴券」がありますので、住所と氏名を記載して、入場してください。定員は、25名です。  
②写真撮影や録音・録画は、議長の許可が必要です。

詳細は議会事務局へ 84-1335(直通)

# 議員行政視察報告

## 教育の方針や木の学校づくりを学ぶ

平成28年11月1日(火)～2日(水)

参加議員 大館秀孝・鈴木眞徳・齋藤永・石内浩・小澤啓司・利根川茂  
飯田一・中野博・南雲まさ子・井上栄一・田代実・平野田里子

### 義務教育費を無償化

山梨県早川町は、県の南西部に位置し、山々に囲まれた自然豊かな町で、戦後、水力発電所の工事関係者の流入により人口は、約1万人まで急増したが、発電所の無人化に伴い減少し、2015年の国勢調査では、10365人となっています。



町長・教育長の説明を受ける

小学校は、6校あつたが、現在は早川南小学校と早川北小学校の2校で、過去最高の1256人の児童がいた最盛期に比べ、現在早川南小学校は24人、早川北小学校は13人となりましたが、統合せずにいます。

これらの課題を解決するため町長は「教育に力を入れる」と言い、小中学校教材費等無償化事

**檜を中心とした木造仕上げ**

(記・齋藤永)



三岳小学校玄関前

長野県木曽町は、平成17年木曽郡内に11町村が平成の市町村大合併の波に乗り、「木曽市」をめざしたが、旧木曽福島

業・出生から義務教育終了までの医療費補助金交付事業・学校給食無料化事業・頑張る若人応援事業・保育所給食費補助金交付事業・山村留学制度を創設するなど、少子化対策として子育てに必要な事業を行っています。

日本一人口が少ない町の、日本一素敵な学びができる学校の挑戦は、全国に広がっています。

日本一人口が少ない町の、日本一素敵な学びができる学校の挑戦は、全国に広がっています。

日本一人口が少ない町の、日本一素敵な学びができる学校の挑戦は、全国に広がっています。

長野県川上村の川上中学校は、現在生徒数128名、川上村の唐松をふんだんに使い、村有林32haから切り出された木材を建物の構造・外装・内装に使用し、平成20年7月に完成しました。川上

### 柱は原生林をイメージ

(記・利根川茂)

柱は原生林をイメージ

柱は原生林をイメージ

町、開田村、田吉村、三岳村だけで「木曽町」となった。三岳小学校は、あの御岳山のふもとにあり、旧三岳村が建設した木造二階建てです。

昭和61年より旧三岳村村民集会を重ね、1300人の村民の収智を結集し、日本有数の「檜」の産地の木材を活用し、平成9年に完成しました。

木造二階建てですが、廊下は松田小学校の1・5倍以上の広さと、教室の天井も高く、給食室にはシャンデリアもあり、結婚式もあげられるような設計となっていました。

太陽の熱を利用した、夏涼しく、冬暖かいパッシブソーラーシステムを採用し寒冷地での暖かい室内環境とランニングコストの削減を実現させた余裕たっぷりの建築に庄倒され、すごく豪華さを感じ、建築費が19億7400万円と聞きました。(記・飯田一)

じこからでも見える」とができる、まさに「木造」マニアです。

御岳山ふもと、自然にあふれ、素晴らしい教育環境で育った子供達が、明日の信濃を背負つてい事を、大いに期待しています。



川上中学校全景

の機能を持たせるために、社会的活動の一環として体育館と音楽堂は村の入り口を設けると共に、簡単に区分けでき

るような仕組みを持たせています。補助金を使い分けて学校の中に村民用の施設を設けたことも特徴です。

校舎は2階建ですが、廊下は松田小学校の1・5倍以上の広さと、教室の天井も高く、給食室にはシャンデリアもあり、結婚式もあげられるよう

な設計となっていました。

太陽の熱を利用した、夏涼しく、冬暖かいパッシブソーラーシステムを採用し寒冷地での暖かい室内環境とランニングコストの削減を実現させた余裕たっぷりの建築に庄倒され、すごく豪華さを感じ、建築費が19億7400万円と聞きました。(記・飯田一)



上席専門員から説明を受ける

**薬用植物指導センター**  
富山県上市町は、富山県東部の山寄りに位置し、町域の大半は山地が占め、北西部は平野で農業地区、人口は北西部に集中し2万1千人ほどです。

可能性を探つてみたい。  
研究と神奈川県西部の山間地域での新たな作物の  
開拓を目指す江勇さんによると、上市町は、富山県東部の山寄りに位置し、町域の大半は山地が占め、北西部は平野で農業地区、人口は北西部に集中し2万1千人ほどです。上市町は、富山県東部の山寄りに位置し、町域の大半は山地が占め、北西部は平野で農業地区、人口は北西部に集中し2万1千人ほどです。

用植物の栽培・調製加工法の確立、種苗の供給及び栽培普及指導を行っています。上席専門員の大江勇さんに、案内と説明をいただきました。

根茎の部分から薬の原料となる成分が何パーセントとなるかが大事で、その基準を満たしていないものは使用できない厳しい基準があるそうです。獸害被害に強い薬草の市内には、農産物直売所が多く設けられ、村の駅「きたかんだ」は、廃業したガソリンスタンドをそのまま使用し、喫茶店と居酒屋も入っています。お金をかけなくとも、アイディアがあれば生かせるものだと感じました。

松田町でも空き家や空き地を利用し、地域の農産物を時間限定、曜日限定などで販売したらどうかと思いました。

(記・飯田一)

## 松田町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方に関する意見書

総務文教常任委員会で平成28年10月29日に、寄小学校・中学校PTAの皆様と懇談会を実施し、平成28年11月17日に町長に、次のとおり意見書（抜粋）を提出しました。

松田町議会としては、教育委員会が実施した座談会・アンケート調査・町民や保護者説明会等も踏まえ、急激な生徒数等の減少に鑑み、早急な対応が必要であるとの認識にいたりました。

よって、寄中学校の統合については、町民の意見を尊重して対応されたい。

なお、次の事項についても充分な考慮をされたい。

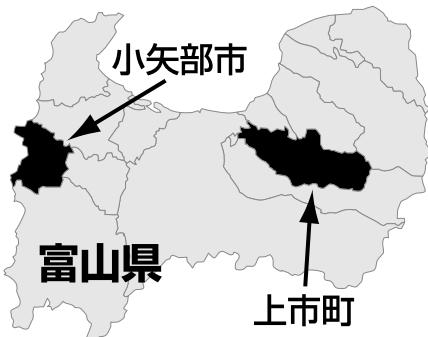
- (1) 少人数でも寄中学校に通学したい方にも丁寧な対応をされたい。
- (2) 準備委員会で十分な論議をされたい。
- (3) 小学校の小規模教育のビジョンも示されたい。
- (4) 寄中学校の統合はやむを得ないことであるが、今後の寄地区の将来像を示されたい。
- (5) 教育委員会だけでなく、寄地区的コミュニティー対策として全課的な対応をされたい。
- (6) 今後は、町・教育委員会・町民・議会との情報共有化を進められたい。

# 議員行政視察報告

## 薬用植物の栽培及び普及

平成28年11月21日(月)～22日(火)

参加議員 大館秀孝・齋藤永・飯田一



メルヘン建築の  
まちづくり

富山県小矢部市は、有名で、人口は約3万人ほどです。メルヘン建築は「文化的価値を持ち、地域の人々に親しまれ、愛される建築物を作りたい」ということで、公共建築する際に、西洋風の有名な建物をまねて建築しています。

## 千曲市を表敬訪問

平成28年11月2日に、当町の産業まつりのリンゴ販売にご協力いただいている長野県千曲市を、当町議会が表敬訪問をしました。



表敬訪問で挨拶する井上議長

## 秦野峠林道活用促進議員連盟が発足

平成28年12月12日に、松田町・山北町の議員が、現地視察を行い、早期に年間利用できるよう議員連盟を立ち上げました。



視察に参加した両町議員



住みやすい町を目指して…②

## 地元の情報を分かりやすく伝える 神山新聞を発行

神山自治会生涯学習委員 勝又 新太郎（神山在住）

神山自治会規約に、役員同士の相互協力で、住みやすい地域づくりと松田町の繁栄のために実践すると定めています。自治会には9つの専門委員会があり、お互いに協力し合って事業を運営しています。

私の企画している生涯学習委員会事業は、夏祭りと文化展および奉仕活動のほか、カラオケ教室と書道教室ですが、他の専門委員全員が自分の事業のように協力してくれます。このように、土木・神社・スポーツ・文化事業にも同様に相互に協力し合っています。

### 神山新聞発行のきっかけ

さて、自治会事業の情報は、文書によるお知らせと結果だけのものが多く、楽しく読みやすいものとはいえません。しかも、町行政の多くの情報と一緒に回覧板で回していますので、家庭において、お母さんだけが見て、または、お父さんだけが見て次に回す場合や回覧枚数が特に多い場合は、じっくり見ないで次に回すことがあると思います。

そこで、生涯学習委員会は、他の専門委員会の協力をする立場で、各専門委員会の情報を興味深く読んでもらえる地域の情報誌としての神山新聞を平成24年から発行しました。時たま入るその新聞を読んでもらうことで回覧板を、皆さんに注意深く見ていただ

けるのではないかと考えました。回覧なので、すぐ読めるA4用紙1枚にすると同時に、興味深く読んでもらうために、カラー印刷のほか、次の点に配慮しました。

### 目を引くための配慮点

①記事の見出しは、一般新聞のように斜め下に流れるように配置して、二段三段目にかけて一つの記事を記載してみました。

②定型的な自治会行事の回覧文書を補完する意味で、各専門委員会の役員紹介と日頃の仕事ぶりを、わかりやすいように写真やイラストを入れた記事にしています。

③お互いに住みやすい毎日の生活を送るために、自治会規約を正しく知ってもらおうと、ポイントを押さえた解説に心がけています。

④一般文書で、参加者募集や協力要請する場合は、新聞形式にした方が素直に読んでいただけるような気がするので、文書と新聞の両方を回覧する場合も試してみました。

た。効果はあったと思います。

さて、神山新聞発行は、まだ5年目ですが、今後も進む高齢化と核家族化で、ますます地域の相互扶助が必要になって来るので、組長の方を含めて自治会運営についての問題提起、さらに地区住民の親睦に結びつくような情報新聞となればいいと思います。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています！ 第1回定例会は3月1日（水）開会

委員長	副委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会	昨年は、アメリカ大統領選挙、イギリスのEU離脱、東京オリンピック会場や豊洲市場問題など論議を呼ぶとともに、議会や議員が表に出ることが多くありました。
石内	中野	南井	利根川	田代	利根川	利根川	議会では、初の議会報告や学校統合問題に係るPTAとの懇談会など、町民の皆様の声を直接伺う場を持ちましたが、さらに身近な議会を目指してまいります。	
浩	博	まさ子	まさ子	栄一	栄一	茂	3月議会は、新年度の予算審議をしますので、議会の傍聴をお待ちしています。	
(石内)							<b>編集あとがき</b>	